

缶シーリングマシン

取扱説明書

We serve you in evdry detail

ご使用される前に是非ご覧ください。

お客様へ

ご利用いただき、大変ありがとうございます。

注意：据え付け前に、この取扱説明書をご覧ください。

説明書に従って、正しく設置して使用ください。

安全警告



注意

下記の条件でご利用ください。

- ① 電源電圧 110v 50/60hz で、乾燥している環境で利用し湿気に注意ください。
- ② 感電を防ぐために、アースケーブルありのコンセントを使ってください。
- ③ 配線を勝手に変更しないでください。変更すると火災や感電により、故障になる可能性があります。
- ④ 感電しないように、マシンのカバーを開けないでください。
- ⑤ 運転中マシンの部品を触らないでください。
- ⑥ 電源配線は曲げ過ぎたり、伸ばし過ぎたりしないでください。
- ⑦ マシンの上に荷物を置かないでください。

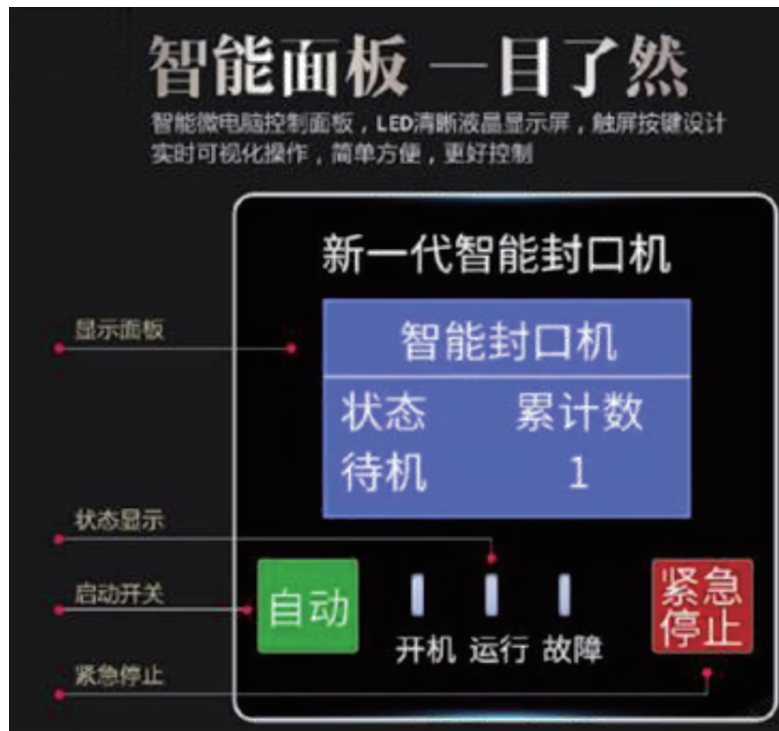
規格

機種	コード	電圧	缶口径 (mm)	缶高さ (mm)	重量 (kg)	寸法 (mm)	色
手動 回転型	RY-FGJ- 100C	AC110 AC220	40- 85	40- 170	28	200* 350* 620	黒/白

メンテナンス

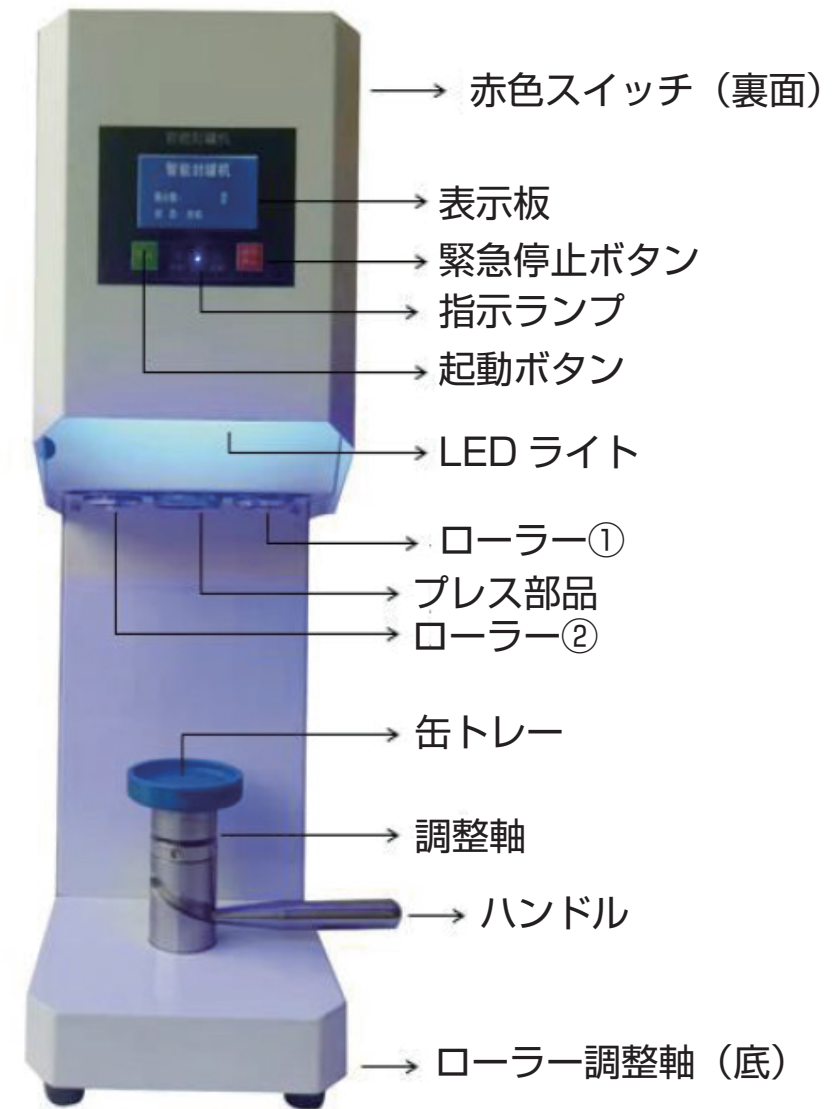
- ① 毎日、マシンを綺麗に掃除してください。
- ② プレス部品、ローラー部品の清潔に保ってください。
異物は必ず取り除いてください、場合によってはシーリングできない可能性や故障の原因になります。
- ③ 破損防ぐ為に、調整軸は定期的に潤滑油を塗ってください。

操作手順

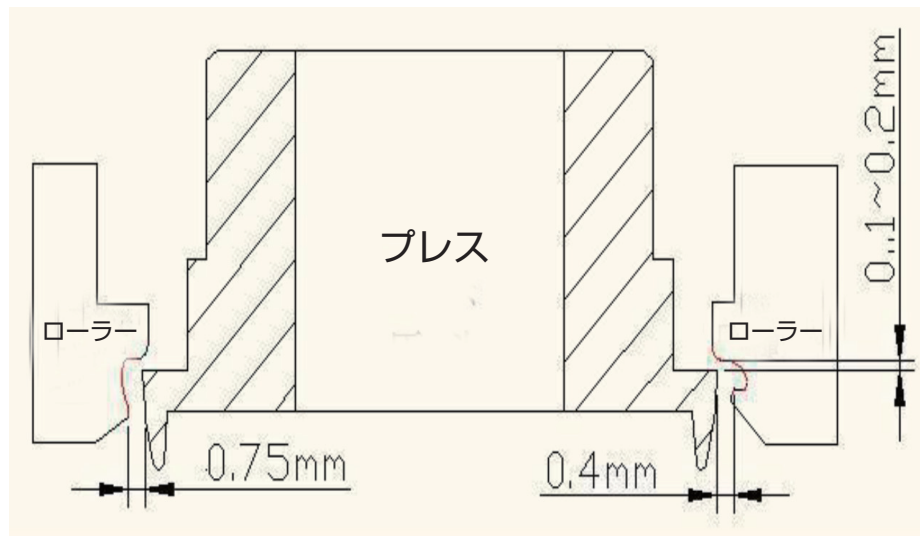


1. マシンをダンボールから取り出して、操作台に設置ください。
2. プラグをコンセントに差し込んでから、裏面のスイッチを押して、表示板は上のようになります。
3. 緑の起動ボタンを押して、マシンの運転を確認します。
4. 缶ボトルを平行に缶トレーに置いて、蓋を缶ボトルの口部に位置を合わせてください。
5. 本マシンは手動型です。ハンドルを左方向へ最後まで上げてから、起動ボタンを押すと、シーリングが開始しシーリングが終了すると止まります。停止してからハンドルを戻して、缶ボトルを取り出します。
6. 異常があれば、赤の緊急停止ボタンを押して運転を停止してください。
7. 赤の緊急停止ボタンを 10 秒押すと、シーリング回数は 0 にリセットされます。
8. 赤の緊急ボタンを 10 秒押したら、シーリング回数は 0 になります。

手動回転型



シーリング調整略図



ローラー調整手順

工具

マイナスドライバー、六角ドライバー、
13# オープンスパナ、シックネスゲージ

ステップ

1. マイナスドライバーでプレス部品の外側のカバーを外します。
2. マシンを斜めにして、M6 六角ドライバーで底の真ん中の M6 ネジからローラー調整軸を移します。
3. 凸ローラーを最高点に調整して、軸と垂直します。
4. マシンを倒して、M6 六角ドライバーでローラー軸のネジを外します。
5. 13# オープンスパナで左右調整します。

高さ調整略図



ステップ

上図の調整軸 2 の部品を緩くして、調整軸 1 の部品を左に調整したら、低くなり、右に調整したら、高くなります。
蓋とプレス部品をちゃんと合うように調整して、調整軸 2 を左にきつく回します。
蓋は同じで、缶ボトルの形は違う場合、缶トレイの交換もできます。

故障と処理方法

注意

故障を処理する際は
必ず電源をオフにしてください。

表示板が表示しない

1. 電源ラインかスイッチラインが切れてるか、プラグが剥がれてるか確認する。
2. 表示板と回路板の白い線は、切れてるか、剥がれてるか確認する。
3. 回路板は故障で、交換する。

プレス部品が動かない

1. 大きいモーターのライン（赤と黒線）は切れてるかプラグが剥がれてるか確認する。
2. 大きいモーターは故障で、交換する。

ローラーが回転しない

1. 小さいモーターの線（赤、黒、白3本）は切れてるかプラグが剥がれてるか確認する。
2. モーターが故障して交換する。

運転が停止せず
回転が止まらない

1. 起動ボタンのライン（赤と黒線）は切れてるか、プラグが剥がれてるか確認する。
2. 起動ボタンのネジは緩くなッタ力確認する。
3. 起動ボタンは故障して、交換する。

蓋が密封せず
漏れてしまう

調整軸は低すぎて、蓋とプレス部品の位置を調整する。

缶ボトルが動かず
蓋が変形してしまう

缶トレイの軸は落ちたか確認する。